

歴史問題と市民運動を考える次世代研究者のための研究会

❖ 開催趣旨

1970年以降、植民地支配や戦争の歴史を掘り起こし、記録していくという市民運動が日本各地で行われてきました。近年、このような歴史問題に取り組む市民運動を対象に、具体的な実践の分析を通じて、市民運動の意義を明らかにする研究が活発に行われています。本研究会では、歴史問題に取り組む市民運動について調査してきた次世代研究者をお招きし、各地でどのような取り組みが行われ、どのような課題を抱えているのか、市民運動研究についての知見を共有していただきます。市民運動研究の現在地を確認することで、これからの研究の発展に寄与することを目的としています。

開催
日時

2026年2月7日(土) 14:30~17:30 (受付 14:00~)

会場

東京大学駒場キャンパス 京王井の頭線「駒場東大前」下車
18号館4階 コラボレーションルーム3【対面のみ】

定員 20名
参加無料
(要申込)

プ
ロ
グ
ラ
ム

14:30~14:40 趣旨説明

14:40~15:10 【報告1】韓 光勳 (梅花女子大学文化表現学部国際英語学科 専任講師)
関東大震災朝鮮人虐殺の記憶継承

一日朝協会による一九六〇年代から一九七〇年代の運動を事例として

15:10~15:40 【報告2】小谷 英里 (一橋大学大学院 博士課程)

〈加害の歴史〉の掘り起こし運動を理解するための方法論の一検討

一運動行為の記述と生活史

【休憩 20分】

16:00~16:40 コメント (各20分ずつ)

【コメント1】本庄 十喜 (北海道教育大学 准教授)

【コメント2】大和 裕美子 (九州共立大学 教授)

16:40~17:30 リプライ・会場からの質疑応答

❖ 参加無料、ただし2月4日(水)までに事前参加申込みが必要です。

参加申込みは、[Google フォーム](#)・二次元バーコードをスキャン・メールのいずれかでお願ひします。終了後に懇談会を開催予定です。[懇談会に参加希望の方は1月30\(金\)までにお申し込みください。](#)

❖ お問い合わせ iagscks@gmail.com (東京大学韓国学研究センター事務局)

❖ 主催 東京大学韓国学研究センター

本研究会は、科研費(基盤研究B)「冷戦期の日韓の歴史問題と越境的市民運動の研究」(代表者・外村大)・科研費(特別研究員奨励費)「グローバルな過去克服としての指紋押捺拒否運動」(課題番号24KJ0770)の成果の一部です。